



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッチツ

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩谷 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部総務部長 (氏名) 松井 慎一

TEL 03-5561-6200

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,220	7.9	319	60.4	522	58.5	346	97.4
26年3月期第3四半期	6,693	△7.9	199	△43.8	329	△18.9	175	△18.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 500百万円 (62.1%) 26年3月期第3四半期 308百万円 (26.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.29	—
26年3月期第3四半期	8.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	16,607	11,269	67.9	530.15
26年3月期	16,138	10,894	67.5	512.49

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,269百万円 26年3月期 10,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	14.8	470	215.6	700	80.0	520	112.7	24.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	21,300,000 株	26年3月期	21,300,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	43,229 株	26年3月期	41,827 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	21,257,610 株	26年3月期3Q	21,259,637 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2~3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、機械関連については、船用機器の需要が、円高是正を背景とする国内造船所における受注環境の改善により回復するとともに産業機器の需要も総じて堅調に推移いたしております。資源関連については、住宅関連資材向け需要は消費増税の影響等により弱含む一方、半導体、情報通信関連分野の需要は、半導体関連が依然低調であるものの、電子材料関連は堅調に推移いたしております。

上述の如き環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は72億2千万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は3億1千9百万円（同60.4%増）となりました。また、営業外損益において中国合弁会社の業績向上に伴う持分法による投資利益の増加があり、経常利益は5億2千2百万円（同58.5%増）、四半期純利益は3億4千6百万円（同97.4%増）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

①機械関連事業

船用機器は、国内造船所におけるバルカーなどの新造船の受注回復を背景に、売上、受注とも増加いたしました。産業機器は製鉄関連の需要が減少し売上はやや減少いたしました。また、受注も大型案件のあった前年同期との対比では減少いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は48億9千5百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は3億1千9百万円（同2.2%増）となりました。

②資源関連事業

結晶質石灰石の需要は、住宅関連資材向けは消費増税の影響等により弱含む一方、埼玉県秩父地区における平成26年2月中旬の大雪による生産設備への被害等の影響が一部残り、売上は減少いたしました。半導体封止材などの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）の需要は、半導体関連が依然低調であるものの、電子材料関連の売上は販路の拡大等により増加いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は16億9千7百万円（前年同期比1.6%減）、営業損失は6千4百万円（前年同期は営業損失1億8千4百万円）となりました。

③不動産関連事業

賃貸ビル市況の改善が進まぬ中、稼働率が低下したことに加え、建物メンテナンス費用を計上したこと等から、売上高は7千2百万円（前年同期比24.6%減）、営業損失は8百万円（前年同期は営業利益3千5百万円）となりました。

④その他

耐熱塗料の売上は、OA機器向け輸出仕様品等工業用が減少したものの、設備用が増加し微増となりました。また、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の売上もセメント関連の定期補修工事の積上げ等により増加し、その結果、「その他」合計では、売上高は5億5千6百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は7千3百万円（同97.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債、純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、166億7百万円となり、前連結会計年度末比4億6千8百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少、流動資産のその他に含まれている未収入金が減少する一方、受取手形及び売掛金の増加、投資有価証券の増加、投資その他の資産のその他に含まれている出資金の増加があったこと等によるものであります。負債合計は53億3千7百万円となり、前連結会計年度末比9千3百万円増加いたしました。これは、有利子負債が減少する一方、支払手形及び買掛金の増加、流動負債のその他に含まれている未払金の増加があったこと等によるものであります。純資産合計は112億6千9百万円となり、前連結会計年度末比3億7千4百万円増加いたしました。これは、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は67.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表しました業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が30,506千円増加し、利益剰余金が19,646千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,318,689	3,034,304
受取手形及び売掛金	2,144,447	2,834,408
電子記録債権	151,464	222,441
商品及び製品	371,741	326,099
仕掛品	859,725	848,621
原材料及び貯蔵品	495,227	498,449
その他	607,275	333,451
貸倒引当金	△1,058	△7,211
流動資産合計	7,947,513	8,090,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,455,408	2,502,864
機械装置及び運搬具（純額）	939,996	855,673
土地	2,410,734	2,409,539
その他（純額）	42,996	81,965
有形固定資産合計	5,849,136	5,850,042
無形固定資産	17,455	19,028
投資その他の資産		
投資有価証券	1,567,084	1,749,719
その他	762,797	902,273
貸倒引当金	△5,010	△4,585
投資その他の資産合計	2,324,871	2,647,407
固定資産合計	8,191,463	8,516,477
資産合計	16,138,976	16,607,042

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	776,547	931,982
短期借入金	1,897,744	1,800,175
未払法人税等	30,470	18,501
賞与引当金	96,592	22,340
役員賞与引当金	12,000	9,000
受注損失引当金	27,978	20,435
資産除去債務	777	—
その他	692,829	899,461
流動負債合計	3,534,938	3,701,895
固定負債		
長期借入金	217,830	83,434
役員退職慰労引当金	99,614	98,667
環境安全対策引当金	50,569	53,239
退職給付に係る負債	687,585	714,693
資産除去債務	54,948	55,244
その他	598,884	630,591
固定負債合計	1,709,431	1,635,869
負債合計	5,244,370	5,337,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	8,523,009	8,743,400
自己株式	△10,084	△10,373
株主資本合計	10,424,182	10,644,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363,174	478,629
繰延ヘッジ損益	760	—
為替換算調整勘定	134,278	153,294
退職給付に係る調整累計額	△27,789	△6,930
その他の包括利益累計額合計	470,424	624,993
純資産合計	10,894,606	11,269,277
負債純資産合計	16,138,976	16,607,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,693,748	7,220,456
売上原価	5,606,244	5,979,199
売上総利益	1,087,504	1,241,257
販売費及び一般管理費	888,275	921,669
営業利益	199,229	319,587
営業外収益		
受取利息	1,938	1,676
受取配当金	28,789	33,238
持分法による投資利益	104,698	175,748
その他	50,483	63,774
営業外収益合計	185,909	274,437
営業外費用		
支払利息	16,071	12,781
休廃止鉱山管理費	27,107	44,192
その他	12,602	14,881
営業外費用合計	55,780	71,855
経常利益	329,358	522,170
特別利益		
固定資産売却益	6,116	754
特別利益合計	6,116	754
特別損失		
固定資産処分損	13,807	16,302
減損損失	57,372	1,011
環境安全対策引当金繰入額	40,413	2,670
関係会社出資金評価損	—	36,382
特別損失合計	111,593	56,366
税金等調整前四半期純利益	223,881	466,557
法人税、住民税及び事業税	25,369	81,042
法人税等調整額	23,062	39,188
法人税等合計	48,431	120,230
少数株主損益調整前四半期純利益	175,449	346,327
四半期純利益	175,449	346,327

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	175,449	346,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,203	115,454
繰延ヘッジ損益	1,879	△760
為替換算調整勘定	49,422	19,016
退職給付に係る調整額	—	20,858
その他の包括利益合計	133,505	154,569
四半期包括利益	308,954	500,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,954	500,896
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,358,913	1,724,401	95,737	6,179,052	514,695	6,693,748	—	6,693,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	139	—	139	6,884	7,023	△7,023	—
計	4,358,913	1,724,540	95,737	6,179,192	521,579	6,700,772	△7,023	6,693,748
セグメント利益又は損 失(△)	313,241	△184,830	35,767	164,177	37,076	201,254	△2,025	199,229

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去540千円、全社費用△2,565千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,895,158	1,697,084	72,171	6,664,415	556,041	7,220,456	—	7,220,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	144	—	144	7,687	7,831	△7,831	—
計	4,895,158	1,697,228	72,171	6,664,559	563,728	7,228,287	△7,831	7,220,456
セグメント利益又は損 失(△)	319,989	△64,205	△8,163	247,620	73,104	320,724	△1,136	319,587

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去571千円、全社費用△1,707千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。